

次世代がん医療加速化研究事業 令和8年度3次公募 説明資料

令和8年6月

AMED創薬事業部 疾患医薬品研究開発課

【AMED 第3期の運営方針】

～ 現場中心主義(研究現場や成果導出先との対話を基礎とする組織体制/風土の形成)の推進
～

「現場中心主義」を徹底しつつ、以下の取組を通して、研究開発とその環境整備及び人材育成等を牽引・後押しすることにより、健康・医療分野における我が国の研究開発活動の活性化や底上げ、ひいては健康長寿社会の実現に向けて貢献する。

事業間連携の取組の強化※

※38ページ参照

研究開発事業及び課題の間をつなぎ、切れ目なく連続した支援を可能とする仕組み(ペアリング、マッチング)を構築・導入する。その際、研究開発の目利きをはじめ出口戦略の立案やそれら実施に向けた案件調整等に取り組むシンクタンクの機能と機動性を向上させた調整費を有効に活用し、研究支援を充実させていく。

研究開発の初期段階からの産学協創・企業導出

上記の研究支援の充実を図りつつ、初期段階からアカデミアと企業が協創して研究開発を進め、企業の視点による各シーズ・技術への支援等を実施することにより、最適な開発段階(基礎・応用研究から臨床研究まで)での企業導出を促進する。

社会実装・貢献へつながる成果創出のための基礎研究の充実

研究者の自由な発想と社会的な要請を踏まえた基礎研究を継続的・安定的に支援し、また、その基礎研究の成果と先端技術開発との融合を図ることにより、医薬品及び医療機器等の開発の源泉となるイノベーションの種を絶え間なく創出していく。

国際展開の推進

国際的に優れた研究成果の創出に向け、国際共同研究の戦略的・機動的な推進や海外ニーズを取り込んだ国際共同治験への参画により、日本人研究者の国際的なトップサークルへの参入を促進するとともに、次世代の優秀な研究者同士の交流や関係構築の強化をする。また、国内外の医薬品市場を見据えた創薬エコシステムを構築する。

医療分野の研究開発のDX

AIをはじめ、生成AIや量子技術等の先端技術を用いた医療分野の効果的・効率的な研究開発を促進する。そうした取組において基盤となるデータベースの構築・整備及び活用を見据えたデータマネジメントに取り組む。

【事業概要】

次世代がん医療加速化研究事業(P-PROMOTE)の方向性

次世代がん医療加速化研究事業(P-PROMOTE)は、「がん研究10か年戦略」等に基づくがん研究の推進を目的に、内閣総理大臣を本部長とする健康・医療戦略推進本部の下、基礎研究から実用化に向けた研究まで一体的に推進していきます。

事業期間は令和4年度～令和10年度の7年間で予定し、各年度に計画される研究開発課題の公募と支援を通じて、「がん研究10か年戦略」を踏まえ、がんの根治・予防・共生の観点に立ち、患者・社会と協働するがん研究を推進することとし、特に、革新性・独自性が高く、国際競争力のある基礎的研究、すなわち、がんの本態解明に迫る「真理の探究」、「基本原理の解明」や「新たな知の発見、創出や蓄積」の深化を図り、治療・診断の標的としての妥当性を検証することで、それらの基礎的研究成果を踏まえた次世代がん治療・診断法の迅速な社会実装に向けた研究開発を加速・展開します。

【次世代がん医療加速化研究事業 令和8年度3次公募】

公募枠	領域
戦略的研究枠 (医療用RI)	研究領域設定無し

令和8年度3次公募では若手枠(次世代PI育成枠)の公募はありません

【研究開発費の規模・研究開発期間 ・採択課題予定数等について】

分野等、公募研究開発課題		研究開発費の規模	研究開発実施 予定期間	新規採択課題 予定数
α線放出核種による革 新的がん治療・診断法 の研究（α線放出核種 を活用する研究）	研究領域設定 無し	1 課題当たり年間 上限15,000千円 (間接経費を含まず)	令和8年度 ～ 令和10年度	0～5 課題程度

【直接経費と間接経費】

公募要領では、研究費の規模を「**直接経費**」で記載しています。

※公募要領に規定されている単年度当たり**予算上限を超えていた場合は不受理とします。**

研究費の規模:1課題当たり 年間 15,000千円上限(間接経費を含まず)

間接経費については、研究機関の経理・契約担当者にご相談ください。
間接経費は直接経費の30%(目安)となります。ただし、30%を超えることは出来ません。

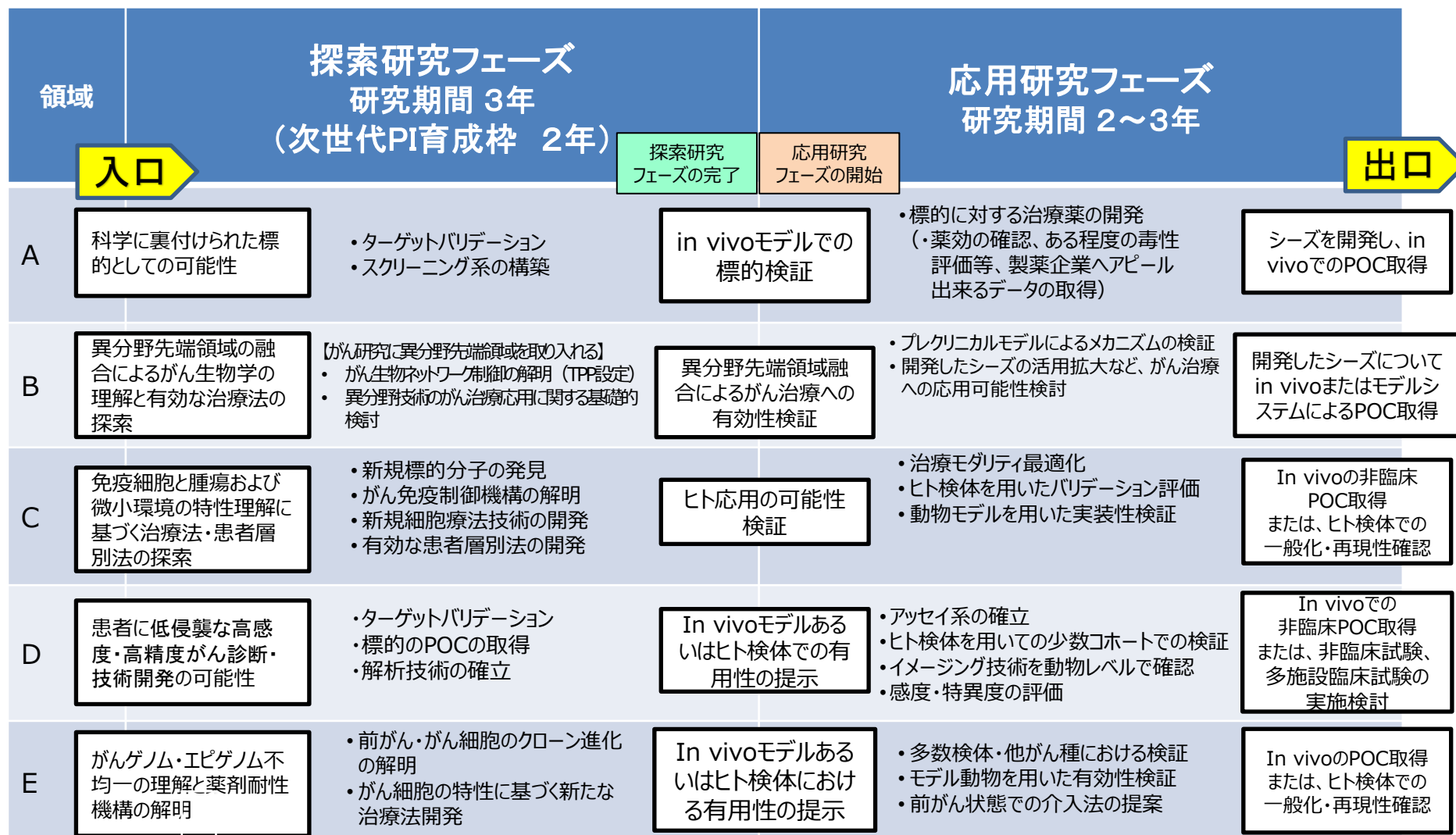
戦略的研究枠(医療用RI)

直接経費15,000千円、間接経費30%



令和8年度	
直接経費	15,000千円
間接経費	4,500千円
研究費総額	19,500千円

【参考】【P-PROMOTEでの研究領域と研究推進の考え方】



【重複制限について】

- 本事業では研究開発代表者として参画できる研究課題は1件のみです
- 本事業の研究参画者は、下記の表(重複制限)を参照して応募してください

本事業の研究参画者		本公募（医療用RI）	
		研究開発代表者	研究開発分担者
研究推進サポート機関	研究開発代表者	×	×
	研究開発分担者	×	○
応用研究採択課題 （研究領域A～E）	研究開発代表者	×	○
	研究開発分担者	○	○
探索研究採択課題 （研究領域A～E）	研究開発代表者	×	○
	研究開発分担者	○	○
次世代PI育成枠採択課題 （研究領域A～E）	研究開発代表者	×	○
	研究開発分担者	○	○
戦略的研究枠採択課題 （医療用RI、 革新的基礎研究）	研究開発代表者	×	○
	研究開発分担者	○	○

企業に所属の研究者が研究代表者としては応募出来ません

なお、企業に所属の研究者が研究開発分担者として提案に含まれることは可能です

【選考スケジュール】

「探索研究フェーズ」「戦略的研究枠(革新的基礎研究)」

提案書類の受付期間・選考スケジュール

提案書類受付期間	令和 8 年 6 月 5 日 (金) ～ 令和 8 年 7 月 6 日 (月) 【12:00】(厳守)
書面審査	令和8年 7 月上旬～令和8年8月下旬 (予定)
ヒアリング審査	医療用RI研究：令和 8 年 9 月4日 (金) (予定)
採択可否の通知	令和 8 年 9 月下旬 (予定)
研究開発開始日 (契約締結等)	令和 8 年10月上旬 (予定)

【注意事項】

以下の場合には提案書類が不受理となります！

No.	必要な提案書類	公募要領 記載ページ
1	提案書の様式がeRadと異なる申請 (1) α線放出核種以外の医療用 R I 核種を用いた研究課題については不受理とします。	2.1 研究開発費の規模・研究開発期間・採択課題予定数等について 注意事項 (1) (p 5)
2	規定されている予算上限を超えた申請	2.1 研究開発費の規模・研究開発期間・採択課題予定数等について 注意事項 (3) (p 5)
3	ヒト全ゲノムシーケンス解析を実施する課題での「ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式」の未提出	3.5 データシェアリング 【特に留意すべき点】 (p 16-17) ヒト全ゲノムシーケンス解析 (全エクソーム解析を含む) を 実施しない場合は不要

【お問い合わせ先】

■ 公募課題、申請書の記載方法等の問い合わせ

AMED創薬事業部疾患医薬品研究開発課

次世代がん医療加速化研究事業 公募担当

E-mail : koubo-jisedai@amed.go.jp

※お問合せは電子メールでお願いします。

必ず件名に「研究領域名」の記載をお願いします。

■ e-Radシステムの操作方法

e-Radポータルサイトヘルプデスク

Tel: 0570-057-060(ナビダイヤル)

利用できない場合は 03-6631-0622(直通)

受付時間 9:00～18:00(平日※)

※土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)を除く

研究開発提案書の留意点

【戦略的研究枠医療用RI】

(様式)

ご自身の提案内容と合致していることを必ずご確認ください

様式

日本医療研究開発機構 次世代がん医療加速化研究事業
令和8年度公募 戦略的研究枠(医療用RI) 研究開発提案書

(事業が定義する探索研究フェーズ、応用研究フェーズを参考に実施計画を提案下さい※)

研究開発課題名 (英語表記)	日本語表記 英語表記	〇〇に関する研究開発 Study of 〇〇	研究領域を必ず記載してください。 提案書に記載した確認の上、e-Radから応募してください。 提案書の様式および、記載の内容がe-Radで異なる場合は、応募を不受理とします。
公募名 (事業名)	次世代がん医療加速化研究事業 戦略的研究枠 (医療用 RI)		
研究開発期間 (本提案における全研究期間)	令和8年 X 月 X 日 ~ 令和 XX 年 X 月 XX 日 (X 年間)		
研究費総額 (直接経費)	全研究期間での研究費総額 (XX,000 千円) ※「7. 各年度別経費内訳」の全研究期間の研究開発費 (直接経費) 合計と同じ金額を記載ください。		
ヒト全ゲノムシーケンス解析 *	☐ 実施する ☐ 実施しない ※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコル様式を提出		
α線放出核種	使用予定のα線放出核種の種類: 〇〇〇 (その他研究に使用予定 RI 核種: 〇〇〇) ※戦略的研究枠 (医療用 RI) は、「α線放出核種を用いた新の公募であるため、該当する課題のみご応募いただけます。		

必ずチェックしてください。
研究開発計画においてヒトの全ゲノムシーケンス解析(次世代シーケンサーを利用した全ゲノムシーケンス解析及び全エクソーム解析)を実施するにあたっては、その解析に用いるプロトコル情報の提出が必須です。

※戦略的研究枠 (医療用 RI) は、「α線放出核種を用いた新規がん治療・診断法の開発」の公募であるため、該当する課題のみご応募いただけます。

7. 各年度別経費内訳

※課題公募時に提示されていた年間の予算上限を超えていた場合は不受理とします。

【全体】

(単位:千円)

大項目		中項目	R8 年度	R9 年度	R10 年度	計
直接経費	1.物品費	設備備品費				
		消耗品費				
	2.旅 費	旅 費				
	3.人件費・謝金	人 件 費※1				
		謝 金				
	4.その他	外 注 費※2				
		そ の 他				
研究開発費 合計						
間接経費 (上記経費の 30%以内)						
計上額 総計						

直接経費合計は申請する研究年間上限額を超えないようにしてください。

直接経費合計は申請する研究年間上限額を超えないようにしてください。

7. 各年度別経費内訳

【全体】

PI人件費制度を利用する場合は研究開発提案書に必ず記載してください。
計上額の年度途中の増額は認められません

大項目		中項目	R8 年度	R9 年度	R10 年度	計
直接経費	1.物品費	設備備品費				
		消耗品費				
	2.旅 費	旅 費				
	3.人件費	人 件 費※1				
	・謝金	謝 金				
		外 注 費※2				

※1 研究力向上のための制度(PI人件費)の利用を希望する場合は、以下の条件を満たしていることを確認の上、以下の項目を記載してください。(希望しない場合は、記載不要です。)

- ① 直接経費にPI の人件費(の一部)を計上することについて、PI 本人が希望していること。
 - ② PI が所属する研究機関において、確保した財源を研究力向上のために適切に執行する体制が整備されていること。
 - ③ PI が所属する研究機関において、研究の業績評価が処遇へ反映されるなどの人事給与マネジメントを実施していること。
- 研究力向上のための制度(PI人件費)とは？ :<https://www.amed.go.jp/keiri/youshiki.html>

- 研究力向上のための制度(PI人件費)に関する記載も審査の対象となります。
- 当該制度を利用する場合は、提案時の記載が必須です。
- 上記の記載額に関わらず、研究の進捗状況等を鑑みて、年度ごとの契約時にPS, POが認める範囲のみに制限されることがあります。

8. 研究業績

- 「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの(概ね一人につき 10 編以内)を選択し、提案課題に直接関連するものとそれ以外に分け、それぞれ直近年度から順に記載してください。←
- 特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言(寄与した指針又はガイドライン等)を記載してください。←

(1) 研究開発代表者 ○○ ○○←

<論文・著書>←

① 提案課題に直接関連する論文・著書←

M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Cccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020, 1,10-20 ←

② 上記以外の論文・著書←

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Cccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26←

<特許権等知的財産権の取得及び申請状況>←

←

<政策提言>←

○○○○○○ガイドライン(○○学会編 XXXX 年)←

10.これまでに受けた研究費とその成果等 (1)

(1) 提案の研究立案に寄与した研究費とその成果←

- 本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費(所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。)による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、次の点に留意して記載してください。←
- 次世代がん医療加速化研究事業(P-PROMOTE)/次世代がん医療創生研究事業(P-CREATE)及びその他のAMED事業、並びにそれ以外の研究費に区別して記載してください。←
- それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間(年度)、課題名、代表者又は分担者の別、研究経費(直接経費)を記載してください。また、研究の概要、成果及び中間・事後評価結果(当該研究費の代表者のみ)も簡潔に記載してください。←

(記載項目)←

資金制度名:←

期間(年度):R 年度～R 年度←

課題名:←

代表者又は分担者の別:←

研究経費(直接経費): 千円←

研究の概要、成果及び中間・事後評価結果(当該研究費の代表者のみ):←

【研究支援実績と成果(研究提案以外の研究に関する事項)】

10.これまでに受けた研究費とその成果等 (2)

▪ 1) 研究開発代表者 ○○ ○○←

(記載例)←

【次世代がん医療加速化研究事業(P-PROMOTE)/次世代がん医療創生研究事業(P-CREATE)】←

① AMED 次世代がん医療加速化研究事業、R4～R6、「○○に関する研究」、代表者、10,000 千円←

この研究では○○について明らかにすることを目的に、△△、□□を行った。その結果、××××であることを見出し、XXXX 誌で発表した。また、☆☆☆に関する解析を行う中で得た○○の知見から提案研究に繋がる着想を得た。←

② AMED 次世代がん医療創生研究事業、H30～R1、「○○に関する研究」、分担者、10,000 千円←

××××の成果を得た。←

←

【その他の AMED 事業】←

① AMED ○○事業(A)、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円←

××××の成果を得た。←

←

② AMED ○○事業(B)、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円←

××××の成果を得た。←

←

【それ以外の研究費】←

① 基盤研究(B)、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円←

××××の成果を得た。←

14. TPP・TRP

【提案時から研究終了時を想定し記載】

- TPP・TRP は、創薬研究等、実用化を目指した研究開発を進める上で重要な指針となるものです。本事業では、がん研究の早期段階から研究者自身が具体的な創薬目標(対象がん種、想定される効能等)を意識することが重要であるとの考えに基づき、本項目の記載をお願いしています。←
- TPP・TRP は研究の進行に伴い更新されていく可能性があるものです。本項目には提案時点において提案者が考えるものを具体的に記載してください。←
- 本事業では、TPP・TRP を採択後の研究開発マネジメントに活用し、研究推進を図ります。←

TPP(Target Product Profile)←

どのような医薬品／実用化イメージを目指しているのかについて記載してください。←

記載例(TPP と TRP の例の番号は対応しています):←

(例 1)Y がんに特異的に発現する X を用いた早期診断キットの臨床検査薬←

(例 2)大腸がん細胞特異的にデリバリーすることが可能な、抗がん剤とコンジュゲートした DDS 製剤←

(例 3)生体内で大腸がん細胞のイメージングが可能なイメージング用分子←

(例 4)活性型キナーゼ A を有する XX がんに対し、選択的な経口投与可能な抗がん剤○○○○←

TRP(Target Research Profile)←

TPP を達成するために、どのような研究を行うのかについて記載してください。←

記載例(TPP と TRP の例の番号は対応しています):←

(例 1)取得したモノクローナル抗体を用いた X の ELISA での測定系を構築し、Y がんの組織及び血漿中の濃度を測定することによる早期診断、層別化の可能性を判断する。←

(例 2)大腸がん細胞特異的に抗がん剤 W を送達可能な DDS 用分子 X-W コンジュゲートを開発する。←

α線放出核種の使用にあたっての準備状況※

※本記載内容が、提案課題の評価に反映されるものではありません。

例示を参考に記載下さい。

・α線放出核種を使用するにあたっての準備状況（使用予定研究施設も含む）等を含めた構想を具体的に記載してください。

「（記載例）自機関（もしくは分担機関）のRI施設で研究用のα線放出核種の利用許可を受けており（又はα線放出核種の利用許可申請を進めており）、At-211(Ac-225)を利用する生化学研究、in vitroの細胞研究は実施可能である。なお、α線放出核種については研究サポート機関からの供給支援を希望している。（もしくは、共同研究先から（〇〇企業）から入手を予定している。）

In vivo研究でのα線放出核種の利用は実験動物施設の使用が自機関内で実施出来ないため、研究サポート機関から支援を希望したい。」

・採択後に研究推進サポート機関よりα線放出核種の供給等含めた関連支援を受けることが可能ですが、具体的な核種や利用に当たっての想定される懸念点等があれば、具体的に記載してください。

「（記載例）

供給希望核種：At-211（又Ac-225 もしくは At-211とAc-225）

使用目的：標的検証のための生化学研究、in vitroの細胞研究 等

（もしくはin vivo評価研究等）

使用時期と供給回数：研究2年目～3年目（年2-3回程度）

供給を受けたい数量（Bq）：△△Bq/回（年間□□Bq）

実施施設：自機関（分担機関も含む）、もしくは外注先or研究サポート機関専用施設

懸念点等：α線放出核種の供給スケジュールは相談可能か。

協力機関の施設でRI研究実施を予定しており、協力機関へのα線放出核種の送付は可能か。

α線放出核種を使用する研究実施は、研究サポート機関に出向いて実施することが可能か。

開発モダリティにα線放出核種結合など、合成化学的支援についての相談を含め受けることは可能か。

治療用のα線放出核種に対し、動態解析（PET/CT、SPECT/CT等）に適する核種による技術支援を受けることは可能か。

（箇条書きでもかまいませんが、研究計画と準備状況等を踏まえ、応募時に計画（想定）している事項等を記載下さい。）

参 考

||= e-Rad入力マニユアル

e-Rad登録時の注意点

1. 令和8年度の「次世代がん医療加速化研究事業」への応募は、府省共通研究開発管理システム(e-Rad)を必ず利用してください。
2. e-Radの使用に当たっては、研究機関および研究者の事前登録が必要です。登録手続きに日数を要する場合がありますので、実際に開始を希望される日付の1週間以上前に登録を済ませてください。また、すでに登録されている方でも異動等により登録情報に変更があった場合には、速やかにe-Rad登録情報を変更し、常に最新の情報となるようにしてください。
3. この文書は応募の流れを簡単に説明するものです。実際に応募する際は、e-Radポータルサイト(<https://www.e-rad.go.jp/>)上にある「研究者向け マニュアル」をご参照ください。また、同マニュアルは、更新されることがありますので、随時確認してください。
4. 研究代表者が申請した段階では応募は完了していません。所属機関のe-Rad事務代表者が承認手続きを終えた段階で応募が完了することに留意してください。
5. 締切直前は応募が混み合い、申請に予想以上の時間がかかったり、登録がスムーズに進まない可能性がありますので、余裕を持った応募を心がけてください。締切を過ぎた応募は受理できません。**締切令和8年7月6日(月)12時【厳守】**

e-Rad登録時の注意点

●[応募(新規登録)]画面で**公募名を必ず確認し、必ず正しい公募に登録してください。**
素晴らしい提案であっても、公募名を間違えて選択して登録すると、公募の趣旨が異なるために不受理になります。

●研究フェーズ【探索研究フェーズ(一般)／戦略的研究枠(革新的基礎研究)】

●探索研究フェーズ(一般)の研究領域【A～E】

選択にご注意下さい！

応募（新規登録）

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。

画面
各

公募名をまず確認

タブでの入力欄が表示されます。
ご確認ください。

合っているか確認！

戦略的研究枠(医療用RI)の公募年度／公募名

公募年度／公募名

2026年度 / 次世代がん医療加速化研究事業 令和8年度3次公募

課題ID／研究開発課題名

必須

XXXXXXXXX /

100文字以内

一時保存中の課題を配分機関に
公開する ?

必須



公開する



公開しない

書類の登録の注意事項

【基本情報】

基本情報-申請書類				
	名称	形式	サイズ	ファイル名
参考 資料	様式 1-1 研究開発提案書（応用研究フェーズ） 必須	[PDF (PDF)]	30MB	参照 クリア 削除
	ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコル様式	[PDF (PDF)]	10MB	参照 クリア 削除
	動物実験に関する自己点検・評価結果	[PDF (PDF)]	10MB	参照 クリア 削除
	PMDAの対面助言の記録等	[PDF (PDF)]	10MB	参照 クリア 削除

[必須]と表示されているファイルをアップロードしないと登録完了できません。

指定場所に書類をアップロードしてください。

応募分野と異なる提案書で作成し応募されると不受理になります。

●戦略的研究枠医療用RI(様式) 研究開発提案書 を使用

書類作成

「研究開発提案書」および、その他必要書類を作成して下さい。

● ファイル名について

アップロードするファイル名には 所属先名・氏名を必ず記載してください。

*研究開発提案書: **提案書_〇〇大学_栄目土太郎.pdf**

*ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコル様式: **ゲノム_〇〇大学_栄目土太郎.pdf**

*PMDAの事前面談・対面助言の記録等: **PMDA_〇〇大学_栄目土太郎.pdf**

*動物実験に関する自己点検・評価報告書: **動物_〇〇大学_栄目土太郎.pdf**

●e-Radへのアップロードは全てPDF形式のみとなります。

応募情報の登録(研究経費・研究組織)

基本情報

研究経費・研究組織

個別項目

応募・受入状況

研究経費

年度ごとの経費の登録を行います。
「1.費目ごとの上下限」を確認しながら、「2.年度別経費内訳」を入力してください。

1.費目ごとの上限と下限

	上限	下限
直接経費	(設定なし)	(設定なし)
間接経費	(直接経費の30%)	-

2.年度別経費内訳

※2028年度はスライダーを右にスライドすると出てきます。

大項目	中項目	2026年度	2027年度	合計	
直接経費	物品費	- 必須	,000 円	,000 円	0 円
	旅費	- 必須	,000 円	,000 円	0 円
	人件費・謝金	- 必須	,000 円	,000 円	0 円
	その他	- 必須	,000 円	,000 円	0 円
	小計		0 円	0 円	
間接経費 (上記経費の30%以内)	間接経費 必須	,000 円	,000 円		
合計		0 円	0 円	0 円	

「研究経費・研究組織」のタブをクリックして入力

この欄に間接経費額を入力してください

応募情報の登録(研究経費・研究組織)

研究組織

1.申請額（初年度）の入力状況

「1.申請額（初年度）の入力状況」を確認しながら、「2.研究組織情報の登録」の各費目をここで入力した各費目の金額の計は、上記の「研究経費」の「2.年度別経費内訳」で入力してください。

「研究経費」で入力した額と「研究組織」で入力した額との差額がゼロにならないと登録が完了しません。

	初年度の申請額	研究経費	
直接経費	0 円	0 円	0 円
間接経費	0 円	0 円	0 円

2.研究組織情報の登録

課題に参加するメンバーと、研究メンバーごとの研究経費初年度を入力してください。研究経費は、上の表の「研究者ごとの金額合計」に反映されます。

 行の追加

 選択行の削除

研究者 を検索	研究者番号 生年月日 氏名（年齢）	研究機関 部局 職/職階 必須	専門分野 学位・取得年月 日・大学 役割分担 必須	直接経費 間接経費 ? 必須	エフ ォ ー ト （%） 必須	閲覧・ 編集権限	削除	移動
	代表者 XXXXXXXX YYYY/MM/DD 〇〇 〇〇〇 (XX歳) (△△△△ △△△△)	〇〇機関 〇〇部局 〇〇長/〇〇クラス	☒ 〇〇学位・ YYYY/MM/ DD・〇〇 大学	,000 円 ,000 円				

この欄に代表者、分担者別の「直接経費」「間接経費」の額を入力してください。

 行の追加

クリックして分担者を追加

 選択行の削除

直接経費と間接経費

戦略的研究枠
医療用RI

公募要領では、研究費の規模を「**直接経費**」で記載しています。

※公募要領に規定されている各単年度当たり予算上限を超えていた場合は不受理とします。

4. 予算規模等（研究費、研究期間、採択）

研究費の規模: 1課題当たり 令和8年度 15,000千円上限(間接経費を含まず)

間接経費については、研究機関の経理・契約担当者にご相談ください。
間接経費は直接経費の30%(目安)となります。ただし、30%を超えることは出来ません。

令和8年度 直接経費15,000千円、間接経費を30%



令和8年度	
直接経費	15,000千円
間接経費	4,500千円
研究費総額	19,500千円

応募手続き完了の確認

- 応募情報の入力が完了すると、応募課題のステータスが「応募中/申請中/研究機関処理中」になります。
※この段階では応募は完了していません。
- 本公募は研究機関の承認が必要な公募です。
- 研究機関の事務代表者が承認してはじめてAMEDに応募ファイルが送られ、「応募中/申請中/配分機関処理中」になります(これで応募完了です)。

締切までに
「応募中/申請中/配分機関処理中」
となっていることが必要です。
(e-Rad上の画面で確認できます)

一時保存中の入力再開など、操作方法の詳細に関しては、
e-Rad研究者向け操作マニュアルをご参照ください。